

## 令和元年度自治体等FM連絡会議福島県地域会の開催報告

福島県地域会

代表幹事 福島県総務部財産管理課

### 1 公共施設マネジメント研修会について

去る令和元年8月28日(水)、郡山市役所本庁舎特別会議室において、こおりやま広域圏連携事業と自治体等FM連絡会議福島県地域会の合同事業として、公共施設マネジメント研修会を開催し、福島県内の17の自治体から計120名の方に参加いただき、過去最高の参加人数となりました。

#### (1) 第1部【演題】「個別施設計画策定後を見据えた公共施設マネジメントについて」

【講師】前橋工科大学工学部建築学科 准教授 堤 洋樹 氏

堤洋樹様の講演では、施設の統廃合に関して、空間を共有することが今後の施設整備に不可欠な要素であり、自治体間を超えて地域で検討することが重要であるなど、行政に求められる施設整備の考え方をご教示いただきました。他自治体の先進事例として、官民連携の必要性について、千葉県佐倉市における学校プール授業の民間委託の事例や大阪府池田市における住民ワークショップによる地域の声を反映した施設整備手法をご紹介いただきました。また、地区ごとの課題を共有し、各々の地区の地域づくりについて住民も真剣に考えていく福島県会津若松市における3地区合同ワークショップの取組みなど住民のための公共施設マネジメントの重要性をご教示いただきました。

#### (2) 第2部【演題】「公共施設の更新問題に対して自治体はどうするのか？」

～鳥取市版FM～

【講師】鳥取市総務部財産経営課資産活用推進室 資産活用係長 宮谷 卓志 氏

宮谷卓志様の講演では、施設にかかるお金を効率的に減らす方法、施設の維持・修繕の見直しや施設を有効活用した財源確保など今まで取り組まれたFMの実例をご紹介いただきました。中でも意識改革というところでは、FMの露出を増やすため積極的な職員研修の開催や市民への情報発信など、さまざまな取組みをされており、情報発信や意識啓発の重要性をご教示いただきました。また、新たな財源確保の方法として、PPPの導入については、制度を作るだけでなく、民間事業者を対象としたPPP勉強会を開催するなど職員や市民にとどまらず、民間事業者にも公共施設の更新問題を共有し、環境整備をしていくことで、FMが最大限に活かされるとのことでした。

堤洋樹様の先進自治体の取組み事例の紹介や宮谷卓志様の鳥取市の先進的な取組みは今後、本格的にFMに取り組もうとする県内の自治体の職員にとって、大きな励みと教訓となりました。



## 2 地域会について

研修会後の地域会では、令和2年度の活動計画及び幹事選任の議案について審議が行われました。両議案ともに承認され、令和2年度の幹事には、会津若松市が選任されました。

福島県地域会は、今後も福島県内の自治体等F M関係者との情報交換や交流の場を設け、会員相互の連携強化を図りながら、より一層活発になるよう活動していきます。

また、自治体が主体的に参加できるような地域会を実施していけるよう、他自治体と協力しながら、今まで以上に活動を活性化させていきたいと考えています。



## 3 おわりに

ご講演いただいた前橋工科大学の堤准教授、鳥取市役所の宮谷係長、福島県地域会に参加された方々、一般財団法人建築保全センターの関係者の方々、令和元年度幹事の郡山市並びに関係者の方々に厚く御礼申し上げます。